教育のぼりべつ

令和元年
7月 1日
NO,22

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目33番地

新年度がスタート!!　市内各校で始業式・入学式

４月５日（金）、市内１２小中学校で始業式が行われ、新年度がスタートしました。また、５日の午前中に入学式を行った小学校は、幌別・登別・青葉の３小学校で、中学校は５校全てが、５日に入学式を実施しました。なお、幌別西小学校では、４月６日（土）に始業式・入学式を、鷲別・若草・富岸・幌別東の４小学校では、４月８日（月）に入学式が行われました。

そのうち、緑陽中学校では、４月５日午後１時３０分より、新入生１４３名を迎えて、入学式が実施されました。

多くの来賓や保護者、在校生が見守る中、担任を先頭に入場してきた新入生はやや緊張気味ながら、どの子も堂々と胸を張って歩いていました。

また、式の中で全員の名前が呼名された後、学校長より入学が許可され、晴れて中学生の仲間入りをした新入生たちは、みんな清々しい顔をしていました。

これから、中学校生活がスタートします。期待と不安で一杯でしょうが、多くの経験を積み重ね、より大きく成長していくことを心から期待しています。



担任の呼名に元気に返事をして起立する新入生

新入学児童に対する交通安全啓発運動

４月５日（金）に、青葉小学校の「入学式」にあわせて、登別市・登別市交通安全協会共催の「新入学児童に対する交通安全啓発運動」を実施しました。

生憎の雨模様のため、屋外で活動することができず、急遽、児童玄関前での啓発活動となりましたが、小笠原市長、武田教育長をはじめ、室蘭警察署及び交通安全協会の皆さんから、新１年生が安全に登下校できるよう願いを込めた「交通安全グッズ」が、一人ひとりにプレゼントされました。

お父さんやお母さんと一緒に登校してきた新１年生は、突然のプレゼントに戸惑いながらも、笑顔でプレゼントを受け取るとともに、たくさんの方々から励ましの言葉をいただいて、親子で入学式の会場へと向かっていきました。

これからの小学校生活の中で、子どもたちが元気に成長していくのが、とても楽しみです。







教育行政執行方針2019（要旨）

未来を拓く人材の育成 ～地域と連携した特色ある教育～

これまで、本市においては、コミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業を導入し、地域の教育力を活用した学校づくりを進めてきました。今後は、さらにコーディネート機能の拡充などを図り、地域と学校が連携、協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動に発展するよう努めていきます。

学校教育

「幼保・小・中連携」 相互参観や合同研修を通じて相互理解を深めるとともに、子ども一人ひとりが安心して学校生活を始めることができるよう、小学校からのスタートカリキュラムの作成に取り組みます。

「小中一貫教育」 小中一貫教育基本方針を踏まえた系統的、継続的な指導が推進されるよう促します。

「キャリア教育」 市内小中学校と青嶺高等学校・登別明日中等教育学校との連携を図り、社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度が育成されるよう支援します。

「プログラミング教育」 市情報教育推進協議会や日本工学院北海道専門学校と連携し、各学校における具体的な取組を支援します。

英語教育

登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、外国語指導助手の活用を図り、コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進に努めます。

小学校４年生全員に英検ジュニアを実施、英検３級を受験する市立中学校生徒への検定料の補助により、児童生徒の英語学習に対する意欲向上を図ります。

教職員の資質向上

教育実践研究奨励校を指定し、各校の研究・研修活動を支援するとともに、学校力向上に関する総合実践事業の成果を市内各学校に還元されるよう促します。

働き方改革基本方針に基づき、勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実を促します。

学校図書館の活用

学校図書館司書や学校図書館担当者が中心となり、本を身近に感じる環境づくりと多様な本に触れる機会の充実に努め、読書習慣の定着と読書意欲の向上が図られるよう促します。

豊かな心の育成

登別温泉やキウシト湿原、ふぉれすと鉱山など、地域資源を活用した体験活動や、『特別の教科道徳』の指導の充実を促し、児童生徒の豊かな情操を育みます。

健康や体力づくり

１校１実践の取組の推奨やスポーツ指導員の派遣を通して運動に親しむ意識が高まるよう努めます。

『早寝早起き朝ごはん』の啓発活動や、望ましい食習慣の形成を図る食育の指導、性教育や薬物乱用防止に関する指導などの充実を促します。

児童生徒の安全対策

家庭や地域、関係機関と連携し、通学路の安全確保に努めるとともに、避難訓練や防犯教室、情報モラル教室、消費者教室などの取組を促します。

不登校・いじめ対策

教育指導専門員やスクールカウンセラー等の配置による相談体制の充実と適応指導教室での登校支援に努めるとともに、各種対策会議を活用して問題の未然防止や、早期発見・早期対応に取り組みます。

特別支援教育

各校の特別支援教育コーディネーターを中心に個別の教育支援計画・指導計画に基づく適切な指導がなされるよう、支援します。

学校の適正配置

学校適正配置基本方針をもとに、保護者や地域の皆さんとの意見交換の機会を設け、今後の方向性を検討していきます。

社会教育

市民一人ひとりが学び続け、学んだことを活かして活躍することができる活力ある生涯学習社会の実現を目指して、各種施策を推進するとともに、社会教育施設において、指定管理者やボランティア団体との協働により、効果的な学習が提供されるよう努めます。

ふるさと教育

登別の歴史や文化、自然などを活用し、学びの機会の充実を図るとともに、文化講座や各種講演会などの活動を通して、アイヌ文化の伝承と普及に努めます。

家庭教育

家庭教育学級を通した、啓発資料の提供や学習機会の充実に努めるとともに、地域ボランティア団体の協力を得て、子どもの社会性・協調性等を育む「通学合宿」や「放課後子ども教室」を実施します。

青少年の健全育成

学校・家庭・地域と連携した登下校時の見守り活動や街頭指導、巡回指導に取り組むとともに、学校や関係機関と情報を共有し、良好な環境づくりに努めます。

文化・スポーツの振興

関係団体と連携し、市民の文化活動への参加促進や芸術を鑑賞する機会の提供、各種スポーツ教室や大会などの活動の充実に努めるとともに、水泳競技のオリンピアンによる講演会や実技講習会を開催します。

2019年度前期『通学合宿』好天に恵まれ実施!!

今年度前期「通学合宿」を市内の小学校５・６年生を対象として募集し、第１期を５月１４日(火)～１８日(土)に、幌西・幌別・幌東・登別の４校から参加した計３５名の子どもたちと、第２期を５月２１日（火）～２５日（土）に、鷲別・若草・富岸・青葉の４校から参加した計４１名の子どもたちとともに「ふぉれすと鉱山」において実施しました。

通学合宿事業は、親元を離れて子どもたちだけで共同生活をしながら学校に通い、「自分のことは自分でする」「状況に応じて判断し行動する」など、子どもたちの自主性や協調性、適応能力などを伸ばし「生きる力」を身に付けさせることをねらいとして春２回・秋１回の計３回、４泊５日の日程で、ネイチャーセンター（ふぉれすと鉱山）を会場として行っています。

子どもたちは、「夜の野外散策」や「体験プログラム」、「ゲーム大会」や「焼きそばづくり」「お別れパーティー」や「焼きいもづくり」など、様々な体験的活動や友だちとの交流活動等の中で、文字通り自らの体感を通して多くのことを学び、精神的にも大きく成長して自宅へと戻ります。「通学合宿」の活動に関心を持った子は、次回１１月実施予定の第３期「通学合宿」に、ぜひチャレンジしてみましょう。



＜開村式・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝの様子＞



＜ゲーム大会（輪投げ）の様子＞



＜焼きいもづくりの様子＞

五月晴れの中、ふれあい農園で「田植え」が行われました!!

５月２５日（土）幌別中学校区の地域学校協働事業として、地域の農家の方からお借りしている「ふれあい農園」（田んぼ）で「田植え」が実施されました。

参加した子どもたちは、苗の植え方の説明を聞いた後、それぞれに田んぼに入って、泥んこになりながらも、一生懸命に田植え作業に取り組んでいました。貴重な農業体験を通して地域の方々と子どもたちのふれあいの輪が広がる、有意義な一日となりました。

なお、昨年度は、鹿による食害が発生して、お米が収穫できませんでしたので、今年度は、その予防対策として、田んぼの周りに「防護ネット」を張り巡らせ、鹿が田んぼの中に侵入出来ないようにしました。

これから秋の収穫まで、地域の方々と連携・協働して稲の成長を見守り、今年こそは、たくさんのお米を収穫できることを期待しています。



＜真剣に「田植え」に取り組む子どもたちの様子＞



＜田んぼの周りに設置された「防護ネット」＞

第３６回 登別市少年の主張大会

６月５日（水）幌別中学校を会場に、市内５中学校と明日中等教育学校（前期課程）の計６校から選出された１２名の生徒が出場して、第３６回登別市少年の主張大会が開催されました。

今年度より、登別市と姉妹都市交流の関係でつながりを持つ札幌市白石区より派遣された２名の生徒による「特別発表」が最初にあり、その後、各校の代表者１２名の発表が行われましたが、どの生徒の発表も、自らの体験を織り込みながら、課題意識をもった素晴らしい内容でした。

厳正な審査の結果、今年の最優秀賞には、『「命をいただく」ということ』を主題として取り上げ、自身の体験をもとに、自らの思いや考えを堂々と主張した、明日中等教育学校３回生の小路藍花さんが受賞しました。小路さんは、７月に開催される胆振地区大会に、登別市代表として出場しますので、更なる活躍を期待しています。また、最優秀賞の小路藍花さんと優秀賞の佐藤直也さんは、１０月に開催される札幌市白石区中学生の主張発表会に「特別発表者」として参加します。

＜最優秀賞＞　明日中等教育学校　3回生
小　路　藍　花　さん
＜優 秀 賞＞　西陵中学校　3年
佐　藤　直　也　さん
＜奨 励 賞＞　緑陽中学校　3年
髙　原　妃　菜　さん
＜特 別 賞＞　明日中等教育学校　3回生
山　本　文　音　さん



最優秀賞に選ばれた、小路藍花さんの発表の様子



元気いっぱい！全力を出し切った運動会

６月１５日（土）に、市内４小学校（鷲別小・若草小・幌東小・登別小）で、運動会が開催されました。

当日の早朝は霧雨模様で、実施が危ぶまれましたが、徐々に天候が回復し、どの学校も予定通りに開始されました。鷲別小学校では、８時３０分より開会式がスタートし、熱戦の火ぶたが切られました。子どもたちは「仲間を信じ　お互いの全力を　ぶつけ合おう!!」をスローガンに、会場に詰めかけた保護者・地域の皆様からの声援を受けて、どの競技にも全力で取り組み、日頃の練習の成果を存分に発揮していました。



＜優勝旗返還＞



＜エール交換＞



＜1 年徒競走５０m＞



＜1年団体「チェッコリたまいれ」＞



＜5･6年表現「さあさ みんなで どっこいしょ」＞

